



2019年
03月05日
No.A18-11

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2019年2月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップミーティング

・2月28日(木)、鈴木 大地 スポーツ庁長官「スポーツが変える。未来を創る。」(於：ホテルオークラ)。



<要旨>

スポーツ庁が発足以来取り組んでいる各種事業について説明があった。国民健康増進プロジェクト、外国人観光客の増加が見込める武道ツーリズム、一流アスリートを養成するために不可欠である中長期の計画、国の支援を受けるアスリート自身の意識改革を促す取り組みなどが主な内容となった。

(2) 中東情勢分析発表会

・2019年2月8日(金)、研究員 近藤百世、研究員 金谷美紗(於：日本記者クラブ)。

<要旨>

①「イラン核合意の展望－米国による制裁の波及とイラン」(研究員 近藤 百世)

米国がイラン核合意(JCPOA)を離脱し、対イラン制裁を再開するに至った経緯、及びこの

展開が国際政治・イラン政治にもたらす影響を解説した。自国主導の新たな核合意を設立したいトランプ政権、イランをJCPOAに留め域内の安定を図りたい欧・露・中、そして国際社会との良好な関係と内政安定を維持したいロウハーニー政権、それぞれの思惑と施策に触れた。今後の展望として、イランが現状維持に努めようとしていること、また過激な言動に惑わされることなく、冷静に事態を分析することの重要性を指摘した。



②「第2期シーシー政権のエジプトの『安定性』－内政、治安、経済、外交の考察」(研究員 金谷 美紗)

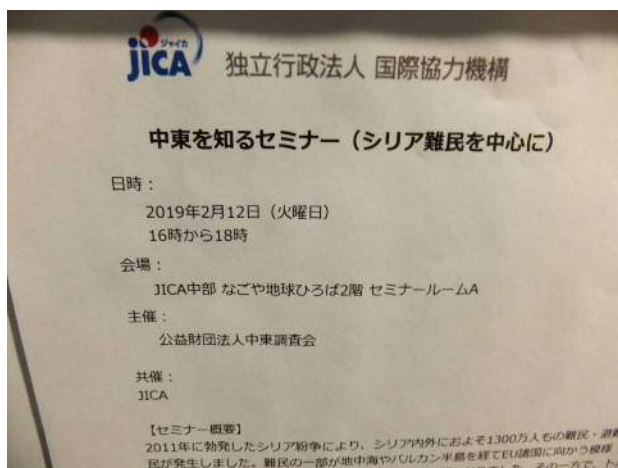
昨年6月に2期目を迎えたシーシー大統領下のエジプトについて、内政・治安、外交、経済を包括的に説明した。政権内外を問わず反シーシー派を排除・鎮圧する施策と、徹底的なテロ対策により、国内の治安状況は改善している。その一方、軍部の政治的・経済的役割を強化し、改憲案には大統領任期延長を含めるなど、権威主義体制を引き続き強化している。また、シーシー大統領は内政安定・

治安維持を最優先事項としているため、従来の域内大国としての外交的責務を果たす意思や余裕が見られないと分析した。低迷する経済と高騰する食料価格、それに対する国民の不満への対応は、シーシー政権にとって大きな課題でありつづけると指摘した。



(3) その他の講演会

・2019年2月12日(火)、主席研究員 高岡豊「中東を知るセミナー：シリア難民を中心に」(於：名古屋、JICA 中部)。*JICA との共催



<要旨>

JICA の柳竜也 中東・欧州部中東第二課企画役より、シリア難民の概況と JICA による難民支援の取り組みについて解説した。高岡より、2016年、2017年、2018年にシリア内外でシリア人を対象に実施した世論調査の成果を基に、シリア人の生活状況や意識について報告した。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

・2019年02月号(2019年03月05日付)

1. アルジェリア：ブーテフリカ 5 期目反対デモの広がり
2. イラン：ワルシャワ会合とソチ会合
3. シリア：アメリカ軍のシリア撤退をめぐる動き
4. トルコ：ユルドゥルム国会議長の辞任と新議長を選出

※内容はホームページをご参照ください

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東かわら版の発行

No.103「カタール：タミーム首長の訪日」(主席研究員 高岡豊、2月1日)

No.104「レバノン：新内閣が発足」(主席研究員 高岡豊、2月5日)

No.105「エジプト：憲法改正案の提出」(研究員 金谷美紗、2月6日)

No.106「サウジアラビア：副国防相、駐米大使の任命」(研究員 金谷美紗、2月25日)

No.107「レバノン：イギリスがヒズブッラーの活動を禁止」(主席研究員 高岡豊、2月26日)

No.108「イラン：ザリーフ外相の辞意表明」(研究員 近藤百世、2月26日)

※内容はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(3) その他の活動

・2019年2月13日(水)、メルジャン駐日トルコ大使と、中東調査会の齋木理事長との意見交換。



・2019年2月14日(木)、東北学院中学校の職場見学。



東北学院中学校の生徒7名が、職場見学で中東調査会事務所を訪れた。中東や異文化理解に関する講義の後、研究員の仕事やモニターの仕事などを見学してもらった。

3. その他

(1) 要人往来

・2月13日、イラン国会のラーリージャーニー議長が訪日し、安倍首相を表敬訪問した。